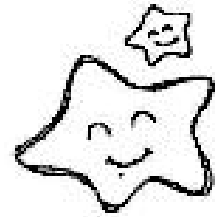


QSK にぬふあぶし

No.262

ね
子の方向の星



2018 沖福連 家族大会 10/13 かりゆしアーバンホーム

今年で結成から30年を迎えた沖福連の家族大会(研修会)が10月13日、那覇で開催されました。

今年の研修では、精神障害者と家族が地域生活を、続けることが出来るように、<コミュニティ・メンタルヘルス>のネットワーク構築に取り組む精神科医の小渡陽順さん、そして、家庭や地域で環境調整で困っている現場に訪問、アウトリーチ支援を行ってきた訪問看護の新垣恵美子さん(訪問看護ステーション・リズム)のお二人に、実践活動を紹介していただきました。

開会式

午後2時から始まった家族大会は、金武町家族会の我喜屋宗一会長の司会で始まりました。沖福連・山田圭吾会長は、これまで30年の歴代会長の業績を振り返りつつ、亡くなった先輩に黙とうを捧げてから、大会の開会を宣言しました。

来賓あいさつは、沖縄県子ども生活福祉部・佐渡山晶子子ども福祉統括官が、大城玲子部長の挨拶を代読、祝辞を述べられました。城間幹子那覇市長は、那覇市長選挙の直前の、分刻みの忙しいスケジュールを調整して下さり、昨年に続けて今年の大会にも、挨拶に駆けつけて下さいました。やはり、市長が直に顔を出して下さいと、家族としても大きな励みになります。感謝！感謝！です。

講演1:《心のクリニック 語り学び》 小渡陽順さん

初めは、小渡陽順さん(精神科医)のお話でした。講演は、「地域で暮らす当事者と家族への提案」というタイトルで、大きなスクリーンに内容を映しながら、次の2つの提案にそって報告されました。

1. 地域で活躍している精神保健従事者を家族会が支え、連携を強めること
2. 保健所、役場、福祉、医療の機関と家族会が交流する方法を探すこと

精神の健康を維持し回復するための情報、相談支援や、治療中断や病状悪化時にどんなことが必要なのか？困り果てた当事者や家族の不安や負担から、どうすれば解放されるか？

こうしたことについて、家族会の全国アンケート調査等を見ると、当事者や家族にとって「伴走者、道案内人」が必要な事がわかってきた。家族会には体験に基づく知識と情報があり、笑顔になれる魅力がある。地



域で暮らすことが出来るように、ボトムアップの連携を強めるために、①地域で活躍する精神保健従事者を支え、②保健所や福祉・医療との交流をもっと活発にしませんか！と呼びかけました。

「具体例として、私が紹介したい方は訪問看護ステーション・リズムの新垣さんのような方々です！」と、次の報告者、新垣恵美子さんにバトンタッチをしてくださいました。

講演2: 《訪問看護ステーション・リズム》 新垣恵美子さん

引き続き、訪問看護の新垣恵美子さんの実践報告でした。精神科の訪問看護ステーションがどんなところか(サービスの仕組み、役割と内容、対象者)等を紹介した後に、《リズム》の実際の訪問看護と相談支援の活動について、そして最後に、今後の課題や展望についてお話をされました。

精神科訪問看護サービスは、以下の流れです。

1. 希望する本人がかかりつけの医師に相談をするところから始まり
2. 医師が訪問看護ステーションに確認し「指示書」を出します
3. 本人・家族と訪問介護ステーションが契約を交わす(訪問内容を確認する)
4. 訪問看護契約をした後から、サービスが始まります
5. 利用者が訪問介護ステーションへ料金を支払い
6. 利用者の症状の経過を訪問介護ステーション(スタッフ)が医師に報告する

地域生活における援助を必要としている精神障がい者が対象になります。家族や地域・職場など社会環境への働きかけ、社会資源についての情報知識が必要な仕事です。訪問介護には、病院が行う訪問介護と、地域の訪問看護ステーションがあります。

そして、家族もケアの対象者として位置づけ、利用者と家族、双方の生活の質向上を図っていきます。リズムでは、「その人らしい自立した生活、質の高い生活を応援」を理念としており、精神的身体的症状の悪化予防、日常生活技能の獲得、対人関係、家族関係、自己肯定感、資源利用、ケアの連携などの支援を行っています。リズムは平成19年から、相談支援(計画作成)は平成24年から始めており、今年からは委託相談が始まっています。

次に、支援に入ったお宅のリフォーム施工前と施工後の様子なども写真で紹介くださり、聴衆の家族の皆さんの共感を呼んでいました。

今後は、行政・公民館などとのきめ細かい連携や人材育成・スキルアップ(事例検討会)に取り組んでいくことが表明されました。

最後に、県内の訪問看護サービスの利用の仕方について、「訪問看護ネット沖縄」のホームページにアクセスし、具体的に自分の地域でサービスを受けるために、ちょっとチャレンジしてみてくださいと呼びかけがありました。

座談会(仲本政師、比嘉 寿、増山幸司、小渡陽順、新垣恵美子、高橋年男)

休憩時間を挟んで高橋事務局長の司会の下、5名のパネリストのクロストーク座談会がもたれました。

これ以降の報告は、次号。乞う、ご期待！

企画
パート①

バザーリア法 40 周年のイタリアで見てきた イタリア視察メンバーらとの対話 “様々な角度からともに語るこれから”

イタリアで精神科病院の廃止を定めて40年、どのように医療や福祉の支援者は革新を支え、当事者・家族、地域社会はそれをどう受け止めてきたのか。私たち日本、そして沖縄でなにができるのか!?

イタリア視察メンバーが沖縄に大集合

沖縄の Special なメンバーも加わり 共に語り合ってみませんか? 対話の中でひとや希望・未来とつながりましょう

日 時: 11月16日(金) 18:45 ~ 参加費: 1,000円
場 所: 沖縄県体育協スポーツ会館 会議室
(那覇市奥武山町51-2 奥武山公園隣)
内 容: 対話(全体トークライブ &
テーマに分かれてグループトーク)

企画
パート②

BBQ in 豊崎美ら SUN ビーチ LET'S BEACH PARTY!

Presented by うちなーde サルーテ協同組合

前日の対話は、前夜祭。きっと話足りなかったはず。

このBBQが、本番の対話時間。

生まれたつながりを育みましょう!!

お互いを知り、連絡を取り合えるようになり、持った知恵と、力を出し合える仲間になろう! どなたでも参加可能です。多くの参加まってます♪

日 時: 11月17日(土) 13:00~
場 所: 豊崎美ら SUN ビーチ
(豊見城市豊崎-5-1 TEL098-850-1139)
内 容: BBQ (食べて、飲んで、語らう♪)
参加費: お一人様 2,500円 お子様無料

参加申込: mail: terushino@castle.ocn.ne.jp

FAX: 098-888-5655

問 合 せ: 098-889-4011 (てるしのワークセンター 担当: 知念・比嘉)

主 催: うちなーde サルーテ協同組合

夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年

日本本土で1950年に廃止された私宅監置は、米軍統治下にあった沖縄では、復帰の1972年まで認められていました。精神障がい者を小屋や家の裏座などに隔離した制度です。地域の「タブー」であり、決して表に出ることがなかった裏面史。闇から光へ。

写真展【入場無料】 12/17(月)–21(金) 豊見城市役所・1F ロビー

初日は、午後から開場、火曜以降は09:00~17:00(入場無料)

「私宅監置の実態を知り、これからを考える」

沖縄の私宅監置小屋の写真とともに監置小屋のレプリカも設置します。

上映会 & トークセッション【資料代500円(各会場共通)】

藤井 克徳 氏
「夜明け前」《企画》
日本障害者協議会代表

今井 友樹 氏
「夜明け前」《監督》
「鳥の道を越えて」文化記録映画優秀賞

(トークセッション全日程登壇)

12/22(土) @那覇市

沖縄県立博物館 1F 講座室

受付/14:30
上映/15:00~16:10
トーク/16:15~17:30

原 義和 氏
《TVディレクター》
「沖縄の私宅監置」で貧困ジャーナリズム賞

橋本 明 氏
《愛知県立大教授》
書籍「精神病者と私宅監置」

12/23(日) @名護市

名城大学 学生会館サクラウム 3階 大講義室A

受付/14:30
上映/15:00~16:10
トーク/16:15~17:30

山田 圭吾 氏
公益社団法人 沖縄合会会長

※現地で私宅小屋保存活動をされている方の報告をいただく予定

12/24(月) @豊見城市

豊見城市社会福祉センター・2F

受付/13:00
上映/13:30~16:10
トーク/14:45~16:15

新垣 綾子 氏 沖縄タイムス社会部記者
「沖縄の私宅監置問題」報道で貧困ジャーナリズム賞

お問合せ 098-889-4011(沖縄連)

【主催】公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会/ゆいハート家族会(豊見城市精神療養者家族会)

【協力】沖縄自主上映会促進ネットワーク 【後援】沖縄県/沖縄県市長会/沖縄県町村会

◎編集後記◎

11月ですね〜。

秋ですね〜。

あつという間に平成もあと

半年を切りましたね〜。

来年のGWは10連休になる可

能性がある!?らしい(ナ)

編集：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡市博多区綱場町 1-17

福岡パーキングビル 4階

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)